



毎月18日発行

発行所
新日本消防新聞社
大阪市東住吉区
北田辺 6-1-20
郵便番号 546-0044
電話 (06) 6622-0993 番
FAX (06) 6622-0638 番
振替口座 00920-9-14308

三咲順子さん「防災一人語り」

消防隊員や団員の活動など演題

東京消防庁矢口消防署(大田区多摩川二)が制作したオリジナルソング「うちのUFO 住警器」を作曲し歌っている女優の三咲順子さん(6月号掲載)は「防災一人語り」を上演している。



熱演する三咲順子さん

住宅火災悲劇訴える 本紙記事が4部作の1作

三咲さんの「一人語り」は四部作。住宅火災の悲劇を訴える「おにぎりいっばいの愛」、阪神大震災でのレスキュー隊員の活動を伝

える「ごく普通の家族」、母子の女性消防団員を主人公にした「写真」、そして現在執筆中の「消えかけた

「おにぎりいっばいの愛」は、泉佐野市消防本部の職員がアパート火災で死亡した五歳男子の保育園児が共

働きの両親をねぎらって、おにぎりを作って帰宅を待っていたエピソードを事業所対象の講習会で発表した火災事例の演題。そのことを本紙が平成十三年十二月

十八日号で報道した。また、「写真」は、オリジナルソングを作詞した池田和生さん(前東京消防庁臨港消防署長)と矢口消防署の東出夕美子消防士長が共同執筆した。

おにぎりいっばいの愛 痛ましかった 保育園児の死

平成13年12月18日号の本紙報道記事の一部

泉佐野市消防本部と南市火災予防協会は十一月九日、消防本部研修室で消防法令適合表示対象物五十四事業所を対象にマーク講習会を開いた。この講習会で「火災現場からの報告」おにぎりいっばいの愛」と題し、五月に発生した保育園児の火災死亡事故を、出動した隊長が火災事例として報告し写真、百三十三人の参加者が涙しながら聞き入った。



火災事例に参加者涙

泉佐野市適マーク講習会

五月のある土曜日前九ト火災、一一九番通報を受に到着した時、アパート一階に発生したアパートに発生した火災現場、階から炎、二階から煙が噴

出していた。消防車から降りた隊長に三十歳位の女性が「二階に子供がいます」と訴えた。その表情は、頭髪は燃えて縮んでおり、顔はすすで真っ黒。猛煙の中、内部進入した救助隊が子供を発見、救助隊によって救命救急センターへ搬送されたが、十日後に死亡した。発見時は体は焼けていないし、顔もきれいだっただけ、しかし、心臓は動いておらず、呼吸もしていない。救助隊が心臓

がする」と好評されている。